

# 安否確認 実践プログラム

災害時に地域で安否確認を行い、お家の中での負傷・閉じ込め等をいち早く発見し、救助につなぐための取組みです。地域全体で取り組んでみましょう。

## 安否確認実践プログラム

災害時に各自宅内で発生した人命の危険を及ぼす『逃げ遅れ』、『家具転倒等による負傷』などを、早期に発見するために地域で実践するプログラムです。

■準備するもの …… 安否確認グッズ(タオル、カードなど自治会で決めたもの)

<取組までの流れ>



※STEP4～6を毎年繰り返す。( +αまで取組ことができるよう頑張りましょう)

## <事前に決めること（ルールづくり）>

### 【掲出条件】

（例）震度5強以上 など

### 【災害発生時の行動】

（例）住民全員：安否確認グッズの掲出

自治会役員：安否確認グッズ掲出状況の確認、未掲出世帯の訪問（安否）確認

### 【確認した掲出状況等の情報集約場所】

（例）自治会館、いっとき避難場所 など

## <取組の周知>

取組をマニュアル化し、自治会等の規約に明記したら住民に取組についての周知とグッズの配布を行う。 **別添** 回覧例

## <具体的な訓練方法（例）>

- ① 事前に自治会内に訓練について回覧する。 **別添** 訓練チラシ例
- ② 訓練日当日、広報した時間になったら、道路から見える玄関先などに安否確認グッズを掲出する。  
※当日留守の場合は、外出時に安否確認グッズを玄関先に掲げて出かける。
- ③ 班長は安否確認グッズの掲出状況を確認する。班長は確認したら、確認用紙に「○」をつけて各宅にポスティングする。 **別添** 確認用紙例
- ④ 後日、安否確認グッズ等の掲出状況について結果報告を回覧する。

## ポイント

○実施する地域に目的や実施方法等のルールを明確に周知することが重要です。

○実施する際は、地域の人が集まりやすいイベントと併せて実施すると参加しやすくなります。

### <イベント例>

- 地域の防災訓練
- 地域防災拠点訓練
- 地域のイベント（餅つき大会や芋煮会など）

○確認用紙に炊出し（餅、豚汁）の引換券をつけるなど、訓練に参加したくなるような工夫をしてみましょう。

○**まずは取り組んでみましょう。**取り組むことで課題や改善点が見えてきます。

○**継続的に実施すること**で取組への理解度が上がります。

〇〇各位

〇〇町内会長

〇〇 〇〇

## 災害時の安否確認カードについて

今後30年以内に80パーセントを超える確率で横浜市内においても最大震度6弱以上の地震が発生するといわれています。

〇〇町内会においては震災時の対策の一つとして防災訓練等を実施しているところではありますが、地域住民の安全を確保するには、より実効性のある取組が必要と考えられます。

「安否確認カード」は地震により家の中で、人が家具によって押しつぶされたり、居室内に閉じ込められたりといった被害が発生していないかを「安否確認カード」の掲示の有無により外部から確認するためのものです。

震災時に家の中で身動きが取れなくなってしまった住民を早期に把握するための手段の一つとして「安否確認カード」を配付させていただいておりますので、取組にご理解ご協力よろしくお願いたします。

また、災害時に支援が必要な方等を把握するため〇〇町内会では名簿を作成させていただいております。名簿は大規模災害が発生した場合と、それを想定した訓練以外での使用は致しません。集めた個人情報の取扱には十分気を付け保管を致しますので、名簿作成についても併せてご協力よろしくお願いたします。

## 【安否確認カードの使い方】



- ① 普段は玄関内側（下駄箱付近）に保管しておいてください。
- ② **震度5強以上の地震が発生した場合**、玄関扉の表側に「安否確認カード」をぶら下げ、無事なことの意味表示をしてください。
- ③ **町内会で組織した見回り隊が地域内を巡回し**、「安否確認カード」が掲出（家人が無事）していることを確認します。
- ④ 「安否確認カード」の表示がない場合、家人が家の中で家具等による押しつぶされや、居室に閉じ込められている可能性があるため、必要に応じて訪問し、安否を確認します。

※安否確認の訪問があった際に家具に挟まれているなど、声が出せない状況だった場合は「近くのを叩いたり」「物を投げたり」等、とにかく音を出して家の中にいることを伝えてください。

- ⑤ 家の中に人の気配がある場合は消防、警察に通報するとともに住民の共助による可能な限りの救助活動を行います。

※名簿等で事前に寝たきり、車いす等、自分で動くことが難しい災害時要援護者を把握している場合は「安否確認カード」の取組に関わらず確認しに行きます。

※1年に1回程度、「安否確認カード」の掲出訓練を行う予定です。

※この取り組みは、令和〇年〇月〇日から開始します。

○○各位

○○町内会長

○○ ○○

## 災害時の安否確認カードについて

今後30年以内に80パーセントを超える確率で横浜市内においても最大震度6弱以上の地震が発生するといわれています。

○○町内会においては震災時の対策の一つとして防災訓練等を実施しているところですが、地域住民の安全を確保するには、より実効性のある取組が必要と考えられます。

「安否確認カード」は震災時において、家の中で人が家具によって押しつぶされたり、居室内に閉じ込められたりといった被害が発生していないかを「安否確認カード」の掲示の有無により外部から確認するためのものです。

震災時に家の中で身動きが取れなくなってしまった住民を早期に把握するための手段の一つとして「安否確認カード」を配付させていただいておりますので、取組にご理解ご協力よろしくお願いいたします。

また、災害時に在宅で被災生活を送る場合に救援物資等の情報が重要になってくることと思いますが、行政からの救援物資等の情報については町内会の回覧等で周知することを考えております。

被災時において、こういった情報伝達は重要なことと考えておりますので町内会の加入へのご検討についても併せてご協力よろしくお願いいたします。



## 【安否確認カードの使い方】

- ① 普段は玄関内側（下駄箱付近）に保管しておいてください。
- ② **震度5強以上の地震が発生した場合**、玄関扉の表側に「安否確認カード」をぶら下げ、無事なことの意味表示をしてください。
- ③ **町内会で組織した見回り隊が地域内を巡回し**、「安否確認カード」が掲出（家人が無事）していることを確認します。
- ④ 「安否確認カード」の表示がない場合、家人が家の中で家具等による押しつぶされや、居室に閉じ込められている可能性があるため、必要に応じて訪問し、安否を確認します。

※安否確認の訪問があった際に家具に挟まれているなど、声が出せない状況だった場合は「近くのを叩いたり」「物を投げたり」等、とにかく音を出して家の中にいることを外の人に伝えてください。

- ⑤ 家の中に人の気配がある場合は消防、警察に通報するとともに住民の共助による可能な限りの救助活動を行います。

※名簿等で事前に寝たきり、車いす等、自分で動くことが難しい災害時要援護者を把握している場合は「安否確認カード」の取組に関わらず確認しに行きます。

※1年に1回程度、「安否確認カード」の掲出訓練を行う予定です。

※この取り組みは、令和○年○月○日から開始します。

〇〇各位

〇〇自治会長

〇〇 〇〇

## 災害時の安否確認カードについて

今後30年以内に80パーセントを超える確率で横浜市内においても最大震度6弱以上の地震が発生するといわれています。

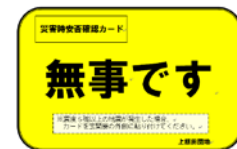
〇〇自治会においては震災時の対策の一つとして防災訓練等を実施しているところではありますが、地域住民の安全を確保するには、より実効性のある取組が必要と考えられます。

「安否確認カード」は地震により家の中で、人が家具によって押しつぶされたり、居室内に閉じ込められたりといった被害が発生していないかを「安否確認カード」の掲示の有無により外部から確認するためのものです。

震災時に家の中で身動きが取れなくなってしまった住民を早期に把握するための手段の一つとして「安否確認カード」を配付させていただいておりますので、取組にご理解ご協力よろしくお願いたします。

また、災害時に支援が必要な方等を把握するため〇〇自治会では名簿を作成させていただいております。名簿は大規模災害が発生した場合と、それを想定した訓練以外での使用は致しません。集めた個人情報の取扱には十分気を付け保管を致しますので、名簿作成についても併せてご協力よろしくお願いたします。

## 【安否確認カードの使い方】



- ① 普段は玄関扉内側に貼り付けておいてください。
- ② **震度5強以上の地震が発生した場合**、玄関扉の表側に「安否確認カード」を張り出し、無事なことの意味表示をしてください。
- ③ **自治会で組織した見回り隊が地域内を巡回し**、「安否確認カード」が掲出（家人が無事）していることを確認します。
- ④ 「安否確認カード」の表示がない場合、家人が家の中で家具等による押しつぶされや、居室に閉じ込められている可能性があるため、必要に応じて訪問し、安否を確認します。

※安否確認の訪問があった際に家具に挟まれているなど、声が出せない状況だった場合は「近くのを叩いたり」「物を投げたり」等、とにかく音を出して家の中にいることを伝えてください。

- ⑤ 家の中に人の気配がある場合は消防、警察に通報するとともに住民の共助による可能な限りの救助活動を行います。

※名簿等で事前に寝たきり、車いす等、自分で動くことが難しい災害時要援護者を把握している場合は「安否確認カード」の掲出の有無に関わらず確認しに行きます。

※1年に1回程度、「安否確認カード」の掲出訓練を行う予定です。

※この取り組みは、令和〇年〇月〇日から開始します。

○○各位

○○自治会長

○○ ○○

## 災害時の安否確認カードについて

今後30年以内に80パーセントを超える確率で横浜市内においても最大震度6弱以上の地震が発生するといわれています。

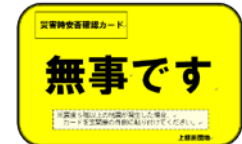
○○自治会においては震災時の対策の一つとして防災訓練等を実施しているところですが、地域住民の安全を確保するには、より実効性のある取組が必要と考えられます。

「安否確認カード」は震災時において、家の中で人が家具によって押しつぶされたり、居室内に閉じ込められたりといった被害が発生していないかを「安否確認カード」の掲示の有無により外部から確認するためのものです。

震災時に家の中で身動きが取れなくなってしまった住民を早期に把握するための手段の一つとして「安否確認カード」を配付させていただいておりますので、取組にご理解ご協力よろしくお願いいたします。

また、災害時に在宅で被災生活を送る場合に救援物資等の情報が重要になってくることと思いますが、行政からの救援物資等の情報については自治会の回覧等で周知することを考えております。

被災時において、こういった情報伝達は重要なことと考えておりますので自治会の加入へのご検討についても併せてご協力よろしくお願いいたします。



## 【安否確認カードの使い方】

- ① 普段は玄関扉内側に貼り付けておいてください。
- ② **震度5強以上の地震が発生した場合**、玄関扉の表側に「安否確認カード」を張り出し、無事なことの意思表示をしてください。
- ③ **自治会で組織した見回り隊が地域内を巡回し**、「安否確認カード」が掲出（家人が無事）していることを確認します。
- ④ 「安否確認カード」の表示がない場合、家人が家の中で家具等による押しつぶされや、居室に閉じ込められている可能性があるため、必要に応じて訪問し、安否を確認します。

※安否確認の訪問があった際に家具に挟まれているなど、声が出せない状況だった場合は「近くのを叩いたり」「物を投げたり」等、とにかく音を出して家の中にいることを外の人に伝えてください。

- ⑤ 家の中に人の気配がある場合は消防、警察に通報するとともに住民の共助による可能な限りの救助活動を行います。

※名簿等で事前に寝たきり、車いす等、自分で動くことが難しい災害時要援護者を把握している場合は「安否確認カード」の掲出の有無に関わらず確認しに行きます。

※1年に1回程度、「安否確認カード」の掲出訓練を行う予定です。

※この取り組みは、令和○年○月○日から開始します。

安否確認カードを使った

# 〇〇自治会 災害時安否確認・避難訓練

(文章例) 昨年度、各世帯に配布した安否確認カードを使った災害時安否確認訓練を実施します。繰り返しの訓練を行い、からだで覚えることで、いざというときに備えましょう!

訓練実施日：〇月〇日(〇) 〇時～〇時

## 訓練①

### 安否確認カードを使った 災害時安否確認訓練

#### ■訓練方法

当日午前〇時まで、無事ならば道路から見える玄関先やベランダ等に安否確認カードを掲げてください。

※班長が確認に回ります。

#### ■当日留守の場合

留守の方は、お出かけの際に安否確認カードを玄関先に掲げてお出かけください。

#### ■訓練の終了

掲げた安否確認カードは、〇時以降にお戻しください。

### ☆訓練の流れ☆

午前〇時

訓練①

**地震発生**  
道路から見える玄関先やベランダ等に安否確認カードを掲げましょう。

訓練②

安全なルートを考えながらいっとき避難場所(〇〇公園)に集合しましょう。

午前〇時

訓練③

〇〇公園集合  
初期消火訓練(水消火器体験)

訓練④

炊き出し訓練

午前〇時

訓練の振り返り

午前〇時

訓練終了

## 訓練②

### 避難訓練

〇〇自治会のいっとき避難場所「〇〇公園」まで安全なルートを考えながら避難をします。

## 訓練③

### 初期消火訓練

発生した火災を小さな火のうちで消すことができるよう、水消火器を使って消火器の使い方を学びましょう。

## 訓練④

### 炊き出し訓練

大規模地震などの際に、救援物資の配布が円滑でない場合に備え、炊き出し訓練を行います。(参加者には豚汁を準備しています)



## 災害時安否確認訓練を実施しました

お宅の玄関先にカード（無事です）の掲出を

	確認できました。
	確認できませんでした。

本日、災害時安否確認訓練を実施し、各ご家庭の玄関先のカード掲出の状況についての確認を行いました。

自宅内で発生した事故などを早期に発見し、救出につなげるための取組になりますので、今後も安否確認の訓練を実施していく予定です。

ご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

〇〇自治会  
令和〇年〇月〇日（〇）

## 災害時安否確認訓練を実施しました

お宅の玄関先にカード（無事です）の掲出を

	確認できました。
	確認できませんでした。

本日、災害時安否確認訓練を実施し、各ご家庭の玄関先のカード掲出の状況についての確認を行いました。

自宅内で発生した事故などを早期に発見し、救出につなげるための取組になりますので、今後も安否確認の訓練を実施していく予定です。

ご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

〇〇自治会  
令和〇年〇月〇日（〇）